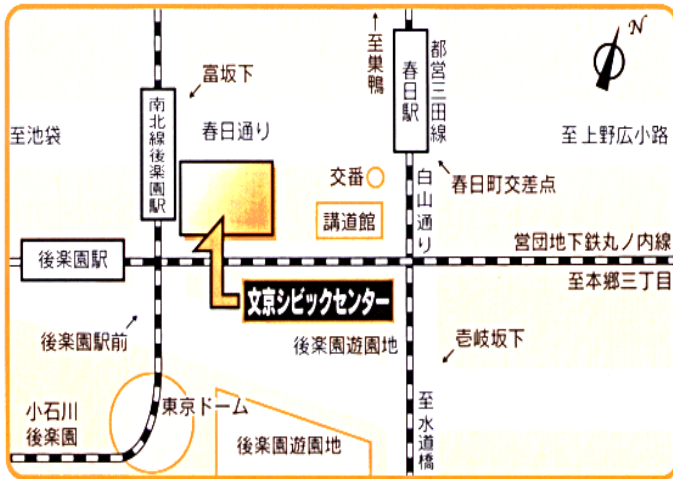


北朝鮮人権侵害啓発週間イベント、デモンストレーション

収容所の独房体験を語る！懲罰房の体感イベントも！

北朝鮮の人権侵害問題は、外国人拉致の問題に限らず、「深刻で、広範囲で、組織的な人道犯罪」と国連で非難決議が採択されています。人々はなぜ、どのようにして収容所や教化所に送られるのでしょうか？そして、独房や、懲罰房ではどのような待遇が待っているのでしょうか？実体験した人の話と、イベントの参加者にも自ら会場で懲罰房などを体感してもらう企画です。



東京集会

日時：12月5日（土）14：00 - 16：00

開場：13：40、閉場：16：30

場所：文京シビックセンター26F スカイホール

交通：地下鉄丸ノ内線、

南北線後樂園駅とも下車徒歩3分

連絡先：北朝鮮難民救援基金

Tel：03-3815-8127

E-mail：nkkin@hotmail.com

テーマ：（東京・大阪とも同一内容です）

「恐怖の密告、収容所、独房生活—北朝鮮」

第I部 セミナー：拘禁施設の全容 運営、管理方法の実際について講演

講師は「北朝鮮政治犯収容所被害者家族会」代表の鄭光日^{チョングァンイル}さん他。

第II部 懲罰房の体験：ご参加の皆さまに、ほぼ実物大の懲罰房のひな型を会場に展示し、体験していただきます。

インタビュー：コラムニストの勝谷誠彦さんが鄭光日さんからテーマに沿ったお話を伺います。

大阪集会

日時：12月6日（日）16：15 - 18：15

開場：16：00、閉場：18：30

場所：大阪市立青少年センター KOKO Plaza

505 講義室（Tel：06-6370-5421）

交通：新大阪東口（南側）徒歩5分

連絡先：・北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会

Tel/Fax：072-990-2887

HP：090-2287-8610)

・北朝鮮難民救援基金

連絡先は東京集会と同じ

*なお、両会場とも資料代として500円が必要です

北朝鮮人権侵害啓発週間イベント主催団体：

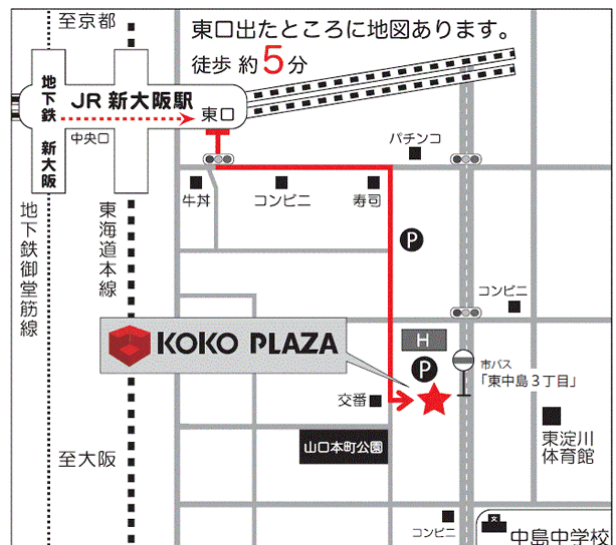
北朝鮮難民救援基金

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会

北朝鮮政治犯収容所被害者家族会（韓国）

共催団体：NO FENCE

協賛団体：脱北者支援民団センター



<講演者紹介>

「No Chain」朝鮮政治犯収容所被害者家族会 代表 鄭光日（チョン・グァンイル）氏



1963年 5月 23日生
1979年 10月 4日 朝鮮人民軍入隊
1992年 8月 朝鮮労働党第824連絡所 ^{ボンスサン} 烽燧山貿易
会社指導員
1998年 11月 朝鮮平壤貿易会社 ^{チョンジン} 清津支社長
1999年 7月 国家保衛部にスパイ容疑で逮捕
2000年 4月 国家保衛部第15号燿徳政治犯収容所
に収監 ^{ヨドク}
2003年 4月 25日 脱北
2004年 4月 22日 大韓民国入国
2007年 4月 1日 北朝鮮民主化運動本部 事務局長
2012年 5月 1日 「No Chain」
朝鮮政治犯収容所被害者家族会 代表

「ノーチェーン」とは？

「ノーチェーン」は、北朝鮮の人権のために活動しているNGOである。その代表者は、かつて燿徳第15号政治犯収容所の西林川地区の囚人であった鄭光日氏である。2000年から2003年まで政治犯収容所に収監された。彼は、北朝鮮から脱北し、韓国内外で北朝鮮人および北朝鮮政治犯収容所の現実を暴露し、北朝鮮の人権運動に寄与している。

「ノーチェーン」は、元政治犯収容所収監者、および政治犯収容所に拘留中、未知の政治的な理由によって、北朝鮮のどこかに消えた人々の家族または親族から成る。

「ノーチェーン」の活動目的は、朝鮮民主主義人民共和国の人権に関して、国連調査委員会の勧告を完全に実施し、北朝鮮の政治犯収容所を最終的に解体することである。

<インタビュー紹介>

勝谷 誠彦（かつや まさひこ）氏



1960年 12月 6日、兵庫県生まれ。
私立灘高校を経て早稲田大学第一文学部文芸専攻卒。
1985年文藝春秋社入社。記者として活動。綾瀬女子高生コンクリート詰め殺人などの国内の事件やフィリピン内乱、若王子事件、カンボジア内戦、湾岸戦争などの国際報道を手がける。1996年退社。その後、コラムニストや写真家として活躍。食や旅のエッセイで広く知られる。
現在「SPA!」の巻頭コラムを始め、雑誌に多数連載を持ち、TV番組「あさパラ!」（よみうりテレビ）、「カツヤマサヒコSHOW」（サンテレビ）、ラジオ番組「ザ・ボイス」（ニッポン放送）に出演中。
『ディアスポラ』（文芸春秋）、『平壤で朝食を。』（光文社）などの小説のほか、「瀬祭 天翔ける日の本の酒」（西日本出版社）、「がんばれ! 瀕死の朝日新聞」（アスペクト）等、著書多数。
365日無休で朝10時までに400字詰め原稿用紙で12枚以上を送る有料配信メール
『勝谷誠彦の××な日々。』 <http://katsuyamasahiko.jp/> は多くの熱狂的読者を持つ。